

## 基本方針 1 重点的な取り組み(1) 加盟団体との連携による事業展開

重点事業①	区民スポーツまつり【区受託事業】					既存事業
事業概要	「体育の日」に総合体育館、大森スポーツセンター、区内の公園、野球場、小中学校のグラウンド等40を超える会場で、様々なスポーツ、ゲーム、体力測定などを実施し、スポーツへの取り組みのきっかけづくりを行います。 【加盟団体実施】					
取組方針	多くの区民が気軽にスポーツに参加できる機会を創出し、生涯スポーツとの出会い、スポーツによる健康づくり意識の向上を目指します。 年ごとに参加者が増加しているが、さらなる参加者及び参加種目の拡充を図るため、新スポーツ健康ゾーンをはじめ拠点会場でのプログラム充実と地区ごとの会場集約を図り、区民のスポーツ、レジャー拠点として日頃から親しまれるよう周知します。また、「国際都市おおた協会」と連携し外国人の方にも参加を呼びかけます。2019年度は加盟団体であるアーチェリー協会及び相撲協会の新規参加により、平和の森公園（新スポーツ健康ゾーン）の新規プログラムを予定しています。また、本事業をきっかけとした参加団体への加入促進を目指し、地区をまたがったプログラムの入れ替え、各団体の紹介チラシの配布等を行います。 ※目標値・・・参加予定者数年 2%増 【2018年度参加人数 17,000人】					
年次計画(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	参加予定者数 17,340人	参加予定者数 17,687人	参加予定者数 18,041人	参加予定者数 18,402人	参加予定者数 18,770人	
2019実績及び検証(D・C)	① 73イベント(地域会場11地区を含む) ② 延べ16,663人参加 ③ 地域会場1カ所は荒天のため中止					
取組方針の変更(A)	① 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大田区スポーツイベントガイドラインに沿って実施。学校施設の取止めなど参加者の安全確保を図り規模を縮小して実施予定。(イベント30、地域会場1カ所)。 ② 2021年度以降は新型コロナウイルス感染症対策の影響を踏まえ、参加予定者数を変更する。また、感染症対策の動向に合わせて随時更新される大田区のスポーツイベント実施方針及びガイドラインに従い実施していく。 ③ 地域会場は年々増加しているが、一層の拡充を図り、住民相互の交流による地域づくりの契機とする。					
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	参加者数 16,663人	参加予定者数 5,500人	参加予定者数 12,000人	参加予定者数 15,000人	参加予定者数 17,000人	

重点事業②	区民スポーツ大会【区受託事業】 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>区内在住・在勤・在学の方を対象に区の受託事業として、協会に加盟する団体の各種スポーツの底辺拡大と競技力向上を図るための大会を支援するとともに、区と連携・協力して広く区民のスポーツ活動への参加を高める目的で実施します。2018 年度実績 春・夏季:40 種目 秋・冬季:43 種目 【加盟団体実施】</p>				
取組方針	<p>区民のスポーツ実施率を上げるためには、「するスポーツ」へのきっかけづくりと体験が重要です。そのためには各種区民スポーツ大会を参加選手の交流と競技力向上の場として確保するとともに、区民が継続してスポーツに取り組める受け皿としての加盟団体競技者等の育成と競技者の増加を図ります。</p> <p>底辺拡大のために種目の PR も含め、大会以外にスポーツバイキングやスポーツまつりなど区民が参加する場に積極的に出向き、加盟者拡充と交流を図ります。具体的方策については、大田区と連携しオリパラのレガシーも含め計画の策定を図っていきます。</p> <p>※目標値・・・参加予定者数年 2%増 <span style="float: right;">【2018 年度参加人数 66,423】</span></p>				
年次計画（P）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	① 大会支援				→
	②新規加盟団体推進			④オリパラレ	→
③団体 PR 事業			ガシー検証	→	
2019 実績及び検証（D・C）	<p>① 春夏 40 種目、秋冬 45 種目（冬季スキー・ソフティテニスは中止）</p> <p>② 延べ 62,364 人参加</p>				
取組方針の変更（A）	<p>① レガシー事業（受託：ポッチャ交流大会）が中止となり、新規加盟のポッチャ協会による区民スポーツ大会を実施</p> <p>② 2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため 8 月までの区民大会は中止</p> <p>③ 2020 年度の秋冬大会では、大田区スポーツイベントガイドラインに沿った実施が可能な種目に限り実施する方針となり、屋内競技を中心に大会実施での安全確保に確信が持てない 22 種目が中止となった。（2020 年 10 月 2 日現在）</p> <p>④ 2021 年度以降も新型コロナウイルス感染拡大防止対策の動向を踏まえ、随時修正される大田区のスポーツイベント実施方針及びガイドラインに従い実施していく。</p> <p>⑤ 競技種目において大会参加者が減少傾向にあるため、初心者や高齢者部門などの創設により参加者の障壁を軽減し、参加者増加につなげていく。</p>				
年次計画変更（P）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	① 大会支援				→
	②新規加盟団体推進	ポッチャ協会加盟 (51 団体)	グラウンド・ゴルフ協会加盟 (52 団体)	④オリパラレ	→
③団体 PR 事業			ガシー検証	→	

重点事業③	小中学生スポーツ教室【区受託事業】 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>区が計画する競技種目により、楽しいスポーツとの出会いを通じてスポーツの基礎を学び、併せて心身の健全な発達とスポーツを行うきっかけづくりから生涯スポーツへの習慣を身につけさせることを目的に実施しています。</p> <p>あわせて、学校施設を活用し小・中学生のスポーツ競技力のレベルアップも図っています。指導体制は、主任指導員と指導員の2人から3人程度で行っています。定員は、各種目50名です。指導員には、加盟団体所属の方や種目により地域スポーツクラブに委託しているものもあります。</p> <p>【実施時期】原則として5月初旬から翌年3月の土曜日又は日曜日の週1回  【実施回数】年間14回  【参加者対象】区内在住・在学の中学生（公・私立）を問わない。種目により小学生4年生以上を対象（ソフトテニス、卓球、バドミントン、陸上、ダンス）  【実施種目（実施場所）】ソフトテニス（六郷中学校、高畑小学校）、テニス（大森第六中学校）、卓球（蓮沼中学校）、ダンス（大森第八中学校）、バドミントン（矢口東小学校）、陸上（区民広場） <span style="float: right;">【加盟団体・（総合型地域スポーツクラブ実施）】</span></p>				
取組方針	<p>小・中学生時代までの発育発達期において、年間を通じて継続的にスポーツに親しめる機会の環境整備を図るとともに、次世代の地域スポーツの担い手づくりを進めます。加盟団体の指導員も高齢化している中で小・中学生の指導員も同様であり、継続していくうえで指導員の確保も今後のひとつの課題です。</p> <p>この「小中学生スポーツ教室」は、中学校の部活動の減少や、指導者の関わりが少ない中で、教室の開催が土曜日・日曜日と限定されるため学校施設の利用が地域のサークル活動や団体のスポーツ利用と競合することとなり、教室の実施が困難になってきています。小・中学生時代の成長期の中で多種目のスポーツを体験する機会をもつことは、将来的に長きにわたりスポーツを楽しみ、親しんでいくうえで有効となります。今後、本教室の活動場所の不足については、管理する大田区教育委員会と協議し、地域サークル活動とのすみわけを図るなど施設の有効活用の検討を行います。</p> <p>このように多くの課題がある中、所管課（スポーツ推進課）と協議し、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、教育委員会などと連携し小中学生が気軽に関わられるスポーツの種目を拡充する検討を行い、取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">【2018年度参加人数 4,620人】</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	現状調査 方向性の検討	→	試行	実施	→

※総合型地域スポーツクラブ実施分については、基本方針1 重点項目(3) 重点事業①に掲載

<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 剣道(前期)5会場×12回=60回、(後期)5会場×15回=75回</li> <li>② その他6種目(テニス・ソフトテニス2会場・卓球・ダンス・バドミントン・陸上)7会場×14回=98回</li> <li>③ 剣道(前期・後期)延べ2912人</li> <li>④ 6種目延べ1360人</li> </ul>				
<b>取組方針の変更(A)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、主催者である大田区では事業の安全性に確信が持てないとの判断により、すべての教室の中止が決定された。</li> <li>② 2021年度以降、大田区としては教室のあり方を検討した結果、すべての教室の中止を決定した。各種目の関係者には大田区より中止とした経緯と今後の対応について説明する。</li> <li>③ スポーツ協会としては、まず、大田区小中学生のスポーツ振興方針や区施設の優先予約及び使用減免等について確認を行い各種目の評価をしたうえで自主事業としての教室実施を検討する。</li> <li>④ 教室中止に伴う管理資材の整理が必要となる。</li> </ul>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	現状調査 方向性の検討	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止 ◆自主事業としての教室検討	★自主事業として実施	→	

重点事業④	<b>初心者スポーツ教室【区受託事業】</b> <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>区が計画する競技種目により、競技スポーツの基礎を学ぶことを主たる目的に、年間を通じ教室を開催します。スポーツの楽しさを体験しスポーツをするきっかけづくりを育むとともに、人との交流から地域の活性化を図り生涯スポーツへの関わりを推進します。</p> <p>【実施時期及び種目（7種目）】  4月…水泳（前期） 5月…卓球、弓道、ミニテニス、グラウンド・ゴルフ  9月…ソフトテニス、ラージボール卓球、水泳（後期）  10月…テニス</p> <p>【対象】15歳以上の初心者（在住・在勤者）  【募集人数】80名…水泳（前・後期）、卓球 60名…テニス 50名…弓道  45名…ソフトテニス 40名…グラウンド・ゴルフ 30…ミニテニス</p> <p>【開催時間帯】平日の午前…グラウンド・ゴルフ 平日の午後…水泳（前・後期）、ラージボール 平日の夜間…弓道、ソフトテニス 土曜日の午前…テニス  土曜日の午後…ミニテニス</p> <p>【参加費】無料…水泳、グラウンド・ゴルフ、弓道  有料（500円）…卓球・ミニテニス・ソフトテニス 有料（1,500円）…テニス</p> <p style="text-align: right;">【加盟団体実施】</p>				
取組方針	<p>スポーツと健康には密接な因果関係があることから、継続的なスポーツ参加者を増やすこと目的に、地域におけるスポーツ活動の促進とスポーツによる健康づくりを進め、区民のスポーツ参加率の向上に努めます。</p> <p>現行のスポーツ教室は、初心者を対象としていますが、リピーターの参加やテニス以外の種目は、定員に満たないなど、スポーツ教室のあり方を検討する時期にきています。初心者を対象に種目の基本を学び習得してスポーツを始めるきっかけづくりを目的とし長年開催しています。初めての方、種目にも慣れもう少し技術をアップしたい方、スポーツを親しむ方など、多種多様な参加者がいます。実施時間帯の設定もあります。働いている方は、土・日曜日又は平日の夜間となります。弓道のように継続性が大切な種目もあれば、卓球、水泳、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフのように基本的な技術を習得すれば、サークル活動などで生涯スポーツとして繋げていくことができる種目もあります。また、スポーツ教室には、施設の確保が必要です。学校施設や区の施設は、地域で活動しているサークル団体などと施設が競合する場合があります。平日の夜間、土曜日・日曜日の使用の調整は、特に必要となります。</p> <p>参加費も教室により無料、有料のものがあります。</p> <p>このような状況の中を踏まえて、今後スポーツ教室をどのような事業にしていくのか方向性を示していく必要があります。</p> <p>スポーツ教室のあり方の検討を行う場合は、現在指導者を依頼している各加盟団体の指導者のほかに総合型地域スポーツクラブへの指導依頼も視野に入れ行うことにより加盟団体の活性化と総合型地域スポーツクラブの支援を図っていきます。</p> <p style="text-align: right;">【2018年度参加人数2,180人】</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
現状調査あり方検討	→		試行	→	
				実施	→

<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	<p>① 7種目8競技(グラウンドゴルフ5回・弓道10回・水泳16回・ミニテニス5回・ソフトテニス5回・テニス5回・卓球8回・ラージ卓球8回) ※テニスは台風19号と新型コロナウイルスの影響のため3回を残し中断</p> <p>② 無料・有料の教室が混在しており無料化とすることを検討し、次年度以降の無料化を決定</p> <p>③ 団体受け皿の拡充及び新規教室導入の検討の結果。教室開催回数の減、新規種目として武術太極拳を組み入れることを決定</p>				
<b>取組方針の変更(A)</b>	<p>① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、主催者である大田区では事業の安全性に確信が持てないとの判断により、すべての教室の中止が決定された。</p> <p>② 大田区としては教室のあり方を検討した結果、次年度よりすべての教室の中止を決定した。各種目の関係者には大田区より中止とした経緯と今後の対応について説明する。</p> <p>③ スポーツ協会としては、まず、大田区初心者のスポーツ振興方針や区施設の優先予約及び使用減免等について確認を行い各種目の評価をしたうえで自主事業としての教室実施を検討する。</p> <p>教室中止に伴う管理資材の整理が必要となる。</p>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	現状調査 方向性の検討と決定	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止 ◆自主事業としての教室検討	★自主事業として実施		



<b>重点事業⑤</b>	<b>障がい者支援事業【区受託事業】</b> <span style="float: right;"><b>既存事業</b></span> <b>【自主事業】</b> <span style="float: right;"><b>新規事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	<p>障がい者手帳並びに愛の手帳をお持ちの方を対象に年 12 回の水泳教室を平和島温水プールで実施します。(受託事業)</p> <p>また、障がい者向けに考案されたボッチャ競技をスポーツ推進委員や地域スポーツクラブと連携し、大田区独自の「ボッチャ教室/交流大会」を開催し、障がい者と健全者の理解と交流の場をプロデュースします。(自主事業)</p> <p>障がい者事業への支援としては、加盟団体からの申請により 50,000 円を上限に大会運営費の補助を行います。(自主事業)</p> <p style="text-align: right;"><b>【加盟団体等実施】</b></p>				
<b>取組方針</b>	<p>障がい者も身近で気軽にスポーツに親しみ、楽しむための事業をパリンピック種目のレガシー事業として区の受託事業と協会の自主事業の両面から福祉部等と調整し普及・啓発等に取り組みます。</p> <p>また、協会加盟団体へは障がい者を対象としたスポーツ事業への助成制度を活用していただき、団体が受け皿となり障がい者のスポーツ機会をデザインします。</p>				
<b>年次計画</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	水泳教室 600 人  ボッチャ教室/ 大会  運営費補助 1 団体	水泳教室 600 人  ボッチャ教室/ 大会  運営費補助 2 団体	水泳教室 600 人  団体加盟促進 大田区大会  運営費補助 3 団体	水泳教室 600 人    運営費補助 4 団体	水泳教室 600 人    運営費補助 5 団体
<b>2019 実績 及び検証 (D・C)</b>	① 障がい者水泳教室(前期 6 回、後期 6 回)、参加者 479 人 ② ボッチャ教室/交流大会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止 ③ 障がい者事業支援では、障がい者対象に事業を実施した「障がい者スポーツ指導者研究会」と「バスケットボール連盟」に補助を行った。				
<b>取組方針の 変更(A)</b>	① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、主催者である大田区より障がい者水泳教室とボッチャ教室/交流大会の中止が決定。障がい者水泳は、感染症等のリスクを低減化しにくいいため、区では水泳教室に替る障がい者向けのスポーツ教室を関係各部門と検討に入る。教室廃止についての関係者への説明は大田区より行う。 ② 新規加盟のボッチャ協会による区民スポーツ大会としての事業を大田区が認め大会を実施する。 ③ 障がい者事業への支援は継続的に行っていく。				

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
<b>年次計画変更 (P)</b>	水泳教室 497 人	水泳教室 中止	廃止 スポーツ教室 として実施	廃止 スポーツ教室 として実施	廃止 スポーツ教室 として実施
	ポッチャ教室 大会 中止	ポッチャ教室/ 大会 中止 ※ポッチャ協 会による区民 スポーツ大会 として実施	団体加盟促進 大田区大会		
	運営費補助 2 団体	運営費補助 団体	運営費補助 団体	運営費補助 団体	運営費補助 団体



重点事業⑥	年少者スポーツ育成【自主事業】 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>【スポーツバイキング】 2019年度からは大森・調布・蒲田の3地区での開催を目指します。具体的な種目については、加盟団体競技をはじめユニバーサルスポーツなどを取り入れることとし、民間を含めた関係団体との連携により地域におけるスポーツ活動の促進を図っていきます。</p> <p>【子ども体育塾】 2019年度からは、より多くの子どもたちに体験してもらうため、大森、調布、蒲田地区の3か所で運動(かけっこ、ボール投げ、跳び箱など)のレッスンを実施します。期間は3日間で少しでも上達すること前進することで、運動の苦手意識を取り除き運動、スポーツの楽しさ、達成感を味わう喜びをもってもらうことが目標です。</p> <p>【子ども卓球大会】 区民スポーツ大会では小学生クラスがなく、育成と環境整備として実施しています。対象は小学3~6年生となっており、今後は1~6年を対象とした大会運営を検討していきます。</p> <p>【子どもスポーツ宿泊教室】 夏休みを期間中に、改修後のユースセンターを利用してスポーツに特化した宿泊事業として計画を策定します。夏休みでもあり、親子が触れ合える種目あるいはオリパラ種目の体験など、協会事業部をはじめ総合型地域スポーツクラブなどと計画していきます。</p> <p style="text-align: right;">【加盟団体実施】</p>				
取組方針	<p>子どもから高齢者まで世代を超えてスポーツに親しめる環境を整備し、地域におけるスポーツへの参加の醸成を図るとともにスポーツ健康づくりを啓発します。</p> <p>特にスポーツ参加率の低いとされている女性層への参加のアプローチをはじめ子どもを中心とした家族ぐるみで取り組めるスポーツプログラムを提供していきます。</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
スポバイ 種目検討		→	オリパラレガ シー種目		
子ども体育塾 種目・場所検討				→	→
子ども卓球大会 2020実施計画 策定	新規計画実施			→	
子どもスポーツ 宿泊教室計 画策定	実施			→	

<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	① スポーツバイキング(大森 103、蒲田 135、調布 138)参加 ② 蒲田地区ではブラジル発祥のフレスコボールを導入。調布地区では雪谷中学校を会場に屋外競技を導入 ③ 夏休み子ども体育塾は3会場で延べ285人参加 ④ 子ども卓球大会は小学1～6年対象に67人が参加				
<b>取組方針の変更(A)</b>	① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策による事業への影響 ・スポーツバイキングの大森・蒲田地区は中止。調布は2月開催を検討 ・夏休み子ども体育塾は3会場とも中止 ・子ども卓球大会は大田区スポーツイベントガイドラインに沿って実施 ② 大田区のスポーツイベントの方向性を踏まえ、スポーツ協会としてもスポーツ事業のあり方と区との役割を検討していく。				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	スポバイ 種目検討  子ども体育塾 種目・場所検討  子ども卓球大会 2020実施計画 策定	    新規計画実施	    子どもスポーツ 宿泊教室計 画策定	オリパ <sup>レガ</sup> シ <sup>ー</sup> 種 目    実施	      

<b>重点事業⑦</b>	<b>ジュニア育成地域推進事業 【都体協受託事業】</b> <span style="float: right;"><b>既存事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	<p>(公財) 東京都体育協会の受託事業として、地域におけるジュニアスポーツの普及とジュニア選手の発掘・強化を目的として実施します。</p> <p>主に国体競技種目を対象として、教室・大会・強化練習などを行います。</p> <p>15 事業(12 種目)・・・陸上、小・中・高・ソフトテニス、卓球、ボート、ゴルフ、柔道、 剣道、サッカー(男子・女子)、バドミントン、カヌー、軟式野球、ソフトボール</p> <p style="text-align: right;">【加盟団体実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>現状の事業種目の継続と有望選手の参加促進を図り、東京都分担金予算増を要望し、その推移を見ながら協会加盟団体へ働きかけを行い、実施種目の拡大も検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【2018年度参加人数 2,000 人】</p>				
<b>年次計画</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	実施種目数 12 種目	種目拡大 検討	—————	—————	—————>
<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	<p>① 16 事業(13 種目) 延べ 1409 人が参加</p> <p>② ボーリングを加え 15 事業(12 種目) から 16 事業(13 種目) に拡大</p> <p>③ 16 事業中、ゴルフ・選抜サッカー・軟式野球は中止</p>				
<b>取組方針の変更(A)</b>	<p>① 2020 年度は 14 事業(11 種目) を計画。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高校ソフトテニス、ゴルフ、軟式野球、バドミントン、カヌーは中止</p> <p>② 東京都体育協会の方針に基づき、2021 年度以降は、受託者として、コロナ対策等安全に十分配慮し実施する。</p>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	実施種目数 10 種目	実施種目数 9 種目	実施種目数 10 種目	実施種目数 11 種目	実施種目数 12 種目

<b>重点事業⑧</b>	<b>シニアスポーツ振興事業【都体協受託事業】</b> <span style="float: right;"><b>既存事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	<p>(公財)東京都体育協会の受託事業として、高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、もって高齢者の健康の維持・増進に寄与することを目的として実施します。</p> <p>60歳以上の区民を対象に「スポーツ競技会」、「講演会」、「講習会」などを行います。</p> <p>5事業・・・卓球、ポールウォーキング、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフ、ストレッチ</p> <p style="text-align: right;"><b>【加盟団体実施】</b></p>				
<b>取組方針</b>	現状の事業の継続と東京都分担金予算に応じて協会加盟団体へ働きかけを行い、実施事業の拡大も検討し、区関係各部とも連携し、高齢者のスポーツ参加を促進していきます。				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施事業数 5事業	実施事業数 増 検討	→	→	→
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	<p>① ゲートボール、剣道が加わり5事業から7事業に拡大</p> <p>② 6事業述べ536人参加</p> <p>競技別参加者数は、グラウンドゴルフ127人、卓球116人、ソフトテニス47人、ポールウォーキング31人</p> <p>(延136人)シニアストレッチ55人、ゲートボール55人であった。剣道については、新型コロナウイルス感染拡大により中止</p>				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	<p>① 新型コロナウイルス感染拡大により2020年度は6事業実施。剣道は中止</p> <p>② 東京都体育協会の方針に基づき、2021年度以降は、受託者として、コロナ対策等安全に十分配慮し実施する。</p>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施事業数 6事業	実施事業数 6事業	実施事業数 7事業	実施事業数 7事業	実施事業数 8事業

基本方針 1 重点的な取り組み(2) スポーツ推進委員、区部局との協働による施策推進

重点事業①	OTA ウォーキング 【区受託事業】 <span style="float: right;">2018～新規事業</span>				
事業概要	<p>だれもが安心して安全にウォーキングを楽しめるコースをスポーツ推進委員協議会をはじめ関係団体と連携して、年2回（春・秋）区内名所等を巡る魅力あるプログラムを選定し実施します。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ推進委員実施】</p>				
取組方針	<p>近年の健康志向の高まりを背景に、中高年を中心にウォーキングイベント参加率は向上しています。ウォーキングは生活習慣病の予防にも効果的とされ、スポーツへの興味・関心を高め、健康と体力づくりのきっかけともなっています。</p> <p>今後も区各部をはじめスポーツ推進委員協議会や大田区浴場組合など協力団体と連携し、区民の参加意欲が湧くルートやプログラムを提供し、様々な広報媒体を活用して安定した参加者の増加を図ります。特に はねぴょん健康ポイント事業との連携、健康ウォーキングマップ活用など、健康づくり政策と連動した企画とする。</p> <p style="text-align: right;">【2018年度参加人数 春 349人・秋 265人】</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	参加予定者数 春 360人 秋 280人	参加予定者数 春 380人 秋 300人	参加予定者数 春 400人 秋 320人	参加予定者数 春 420人 秋 340人	参加予定者数 春 440人 秋 360人
2019実績及び検証(D・C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 春季・秋季の2回開催。延べ428人が参加</li> <li>② 春季は勝海舟記念館の紹介等、区の文化振興施策とタイアップさせた。</li> <li>③ 秋季は新スポーツ健康ゾーンを巡るコースで当該エリアを広く周知できた。</li> </ul>				
取組み方針の変更(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、春季・秋季とも中止となった。</li> <li>② 春季は熱中症予防に努めるとともに、開催時期の変更も検討していく。</li> <li>③ 2021年度以降は新型コロナウイルス感染症対策の影響を踏まえ、参加予定者数を変更する。また、感染症対策の動向に合わせて随時更新される大田区のスポーツイベント実施方針及びガイドラインに従い、同意書の徴取や開会式の簡略化など、必要な対策を講じていく。</li> <li>④ 大田区は2021年度予算編成において、春季はスポーツ協会への事業委託を予定し、秋季は区民スポーツまつりのプログラムに組み込む方針となっている。</li> <li>⑤ 委託者の実施方針に基づき実施する。</li> </ul>				
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	参加者数 春 227人 秋 201人	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止	参加予定者数 春 240人 秋 220人	参加予定者数 春 260人 秋 240人	参加予定者数 春 280人 秋 260人

<b>重点事業②</b>	<b>ボッチャ教室 【自主事業】</b> <span style="float: right;"><b>2018～新規事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	2019年度より、パラリンピック正式種目であるボッチャ競技を通じて、健常者と障がい者の交流の場としてのボッチャ教室と交流大会を開催し、ボッチャを幅広く広めてまいります。 <span style="float: right;"><b>【スポーツ推進委員実施】</b></span>				
<b>取組方針</b>	2020年度まではスポーツ推進委員が主導して、教室と交流大会のメニューを検討し、協会は区関係各部とのコーディネート機能を果たします。2021年以降はレガシーとして、大田区スポーツ推進課や福祉部など関係部局が連携し、健常者と障がい者が共に競技ができる環境を整備し、協会受託事業としての大田区独自のボッチャ大会開催を検討するとともに指導団体の協会加盟を図ります。 また、この事業をきっかけに、区民への他のパラリン種目PRと体験といった事業を所管課と検討していきます。 ※目標値・・・参加予定者数 20%増(2021年度まで)				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボッチャ教室/ 交流大会 参加予定者数 150人	→ 環境整備検討 参加予定者数 180人	→ ボッチャ大会 参加予定者数 220人	→ 参加予定者数 220人	→ 参加予定者数 220人
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	① 2020年度、大田区レガシー事業として受託事業として実施計画を策定するも、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、主催者である大田区より中止が決定 ② スポーツ協会新規加盟のボッチャ協会による大会開催を区が認め実施する。 ③ スポーツ推進課での普及啓発事業については内容と実績不明 ④ 2021年度以降は区民スポーツ大会の位置づけとして実施				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボッチャ教室/ 交流大会中止 参加予定者数 0人	大田区区民スポーツ大会(ボッチャ)として 実施 150人	大田区区民スポーツ大会(ボッチャ)として 実施 150人	大田区区民スポーツ大会(ボッチャ)として 実施 180人	大田区区民スポーツ大会(ボッチャ)として 実施 220人

<b>重点事業③</b>	<b>スポーツポイント制 【区受託事業】</b>					<b>新規事業</b>
<b>事業概要</b>	<p>大田区の掲げるスポーツ実施率向上(成人で週1回以上が65%程度)をめざすために、スポーツ施設の環境整備のほか、ソフト面からのスポーツへの「きっかけづくり」「継続」につなげるため、区の指定管理施設利用をはじめスポーツイベントに参加された方にスポーツポイント制を導入し、ポイント加算者にはスポーツ施設利用券などを付与することによりスポーツ人口の拡大を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【区スポーツ推進課・協会事務局実施】</p>					
<b>取組方針</b>	<p>区の主催する健康フェスタをはじめ区民スポーツまつりなど、多くの方が参加するスポーツイベントだけでなく、スポーツバイクなどの地域スポーツ事業やラジオ体操などにもポイントを付与し、区民のスポーツ継続を支援していきます。付与するプログラムについては、区健康アプリも活用しつつ、区関係部局と調整のうえ制度設計を行います。</p>					
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	検討	→	試行	実施	→	
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	<p>① 2020年度試行に向けて検討</p> <p>② 経費については大田区よりオーエンス管理費を充当するよう指示</p>					
<b>取組み方針の変更(A)</b>	<p>① 試行開始計画も新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により次年度送りとする。</p> <p>② 今後は、企業協力及びはねびよんポイント主管部局との連携と調整を図り、試行を進める。</p>					
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	検討	→	再検討	試行	実施	



**基本方針 1 重点的な取り組み(3) 総合型地域スポーツクラブへの支援と連携**

<b>重点事業①</b>	<b>小中学生スポーツ教室【区受託事業】</b>				<b>既存事業</b>
<b>事業概要</b>	基本方針1重点項目(1)重点事業③と同じ 【総合型地域スポーツクラブ・(加盟団体)】				
<b>取組方針</b>	<p>小・中学生時代までの発育発達期において、年間を通じて継続的にスポーツに親しめる機会の環境整備を図るとともに、次世代の地域スポーツの担い手づくりを進めます。加盟団体の指導員も高齢化している中で小・中学生の指導員も同様であり、継続していくうえで指導員の確保も今後の課題です。総合型地域スポーツクラブへの委託は、現在、2種目(バドミントン、ダンス)ですが、今後は、当該地域スポーツクラブへの委託を広めていく方策も検討していく必要があります。これにより総合型地域スポーツクラブの活動の活性化につなげていきます。</p> <p>小・中学生時代の成長期の中で多種のスポーツを体験する機会をもつことは、将来的に長きにわたりスポーツを楽しみ、親しんでいくうえで有効となります。総合型地域スポーツクラブは、誰でも気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの場を提供しています。今後、本教室は指導者の不足や学校施設の利用など多くの課題がある中、所管課(スポーツ推進課)と協議し、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、教育委員会などと連携し小中学生が気軽に関われるスポーツの種目を拡充する検討を行い、取り組んでいきます。</p> <p>【2018年度参加人数 4,620人】</p>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	現状調査 方向性の検討		試行	実施	
<b>2019実績 及び検証 (D・C)</b>	※前出				
<b>取組み方針 の変更(A)</b>	※前出				
<b>年次計画変 更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	現状調査 方向性の検討		試行	実施	

重点事業②	スポーツ・健康教室 【自主事業】					2018～新規事業
事業概要	<p>健康寿命の延伸に欠かせない生活習慣病予防やフレイル対策の一環として、定期的な健康教室の実施をさらに充実させていくために健康体操教室・ヨガ教室・カキラ教室を実施し、区民の健康・増進を図ります。また、子どものスポーツへの関心は幼児期(3～6歳)に決まるといわれており、区の施策として子どものスポーツへの興味や運動能力の向上を図っていきます。</p> <p>【総合型地域スポーツクラブ実施】</p>					
取組方針	<p>自立した経営基盤の確立を目指す総合型地域スポーツクラブに運営委託することで、協会と総合型地域スポーツクラブの連携強化を図り、事業運営のノウハウ等を高め合います。また、2018年度から始めたカキラ教室は総合型地域スポーツクラブに全面運営委託して行っています。今後は他の教室も運営委託方式をとり、総合型地域スポーツクラブとの連携・協力も図りながら、実施します。</p> <p>2019年度は新たに「エセナおおた」でのカキラ教室及び多摩川台公園事務所においてヨガ教室を開講する予定です。</p> <p>今後は総合型地域スポーツクラブとの連携により、協会がコーディネートし、特別出張所などの区施設を活用し地域密着型「健康教室」を進めます。また、子どもの体力・運動能力水準を上げるため、日本スポーツ協会のアクティブチャイルドプログラムなどを参考として、大田区の計画に沿って年少者スポーツ育成を進めます。 【2018年度参加人数5,000人】</p>					
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	地域密着事業推進	→	施行	→	→	
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 延べ343回、4782人が参加</p> <p>② エセナおおたでは親子健康体操に替りカキラ教室を開始。施設改修のため2020年1月より大森スポーツセンターに会場を変更して実施</p>					
取組み方針の変更(A)	<p>① チャイルドプログラム導入検討</p> <p>② 2020年新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため8月までの教室を中止</p> <p>③ 9月再開においては大田区スポーツイベントガイドラインに従って教室を開催する。</p> <p>④ 小・中スポーツ教室や初心者スポーツ教室とのバランスを考慮し進めていく。</p>					
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	地域密着事業推進	→	施行	→	→	
	年少者育成事業検討	→	施行	→	→	

<b>重点事業①</b>	<b>東京オリンピック・パラリンピック種目からのレガシー活用とブラジルチームとの交流</b>  <div style="text-align: right;"> <b>【自主事業】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規事業</span> </div>				
<b>事業概要</b>	<p>スポーツを通じた国際交流を育むという視点から、区の東京オリンピック・パラリンピック推進担当と連携し、新スポーツ健康ゾーンを活用したブラジルオリンピックチームの事前キャンプのPRと競技種目を紹介するとともに、地域を含めた事前キャンプの協力を行います。また、大会終了後もブラジルとの交流や受け入れ競技の普及をレガシーとして定着させます。</p> <p>【大森スポーツセンター実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>大田区で開催されるホッケー競技がレガシーとして大田区に根付くよう、大田区の計画に沿って事業を進めます。また、ブラジルチームが事前キャンプを行う5種目(バレーボール・ハンドボール・ビーチバレー・アーチェリー・水泳マラソン)を東京オリンピック・パラリンピック推進担当や加盟団体、地域商店街などと連携し、区民との触れ合いも含めメディアで取り上げるとともに区民スポーツまつりなどで体験事業により広めていきます。</p>				
<b>年次計画</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	事前キャンプ	東京オリ ピック・パラ リンピック開催	レガシーの活 用	→	
<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	① ハンドボールチームの事前キャンプ(11月16日～11月30日)を休館にして、全面的に協力した。また、ブラジルチームのポスターやカウントダウンボード等を館内に掲示し、オリンピック・パラリンピックの気運を高めた。				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	① 2020 年度開催が 2021 年度に延期したため、年次計画を変更した。引き続き、カウントダウンボード等を設置し、オリンピック・パラリンピックの気運を高める。				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	事前キャンプ	気運を高める	東京オリ ピック・パラ リンピック開催	レガシーの活 用	→

重点事業②	新スポーツ健康ゾーンの活用 【自主事業】 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">新規事業</span>				
事業概要	水辺のレクリエーション拠点として整備された「大森ふるさとの浜辺公園」や「平和の森公園」「平和島公園」等を新スポーツ健康ゾーンとして位置づけ、ハード・ソフトの両面で、大田区都市基盤整備部や健康政策部などと連携し、スポーツ環境整備を進め、区民の憩いの場として活用します。【大田スタジアム実施】				
取組方針	「スポーツ健康都市おおた」のシンボルとなる環境整備と区民が利用しやすい事業を民間事業者等との協働により実施します。具体的には、ふる浜エリア、スポーツセンター、スタジアムを一つのエリアととらえ、相互利用者へ記念品付与などのスポーツポイント制を導入(1-(2)-③参照)し、利用促進と交流人口の拡大を図ります。また、スポーツまつりなどでは、ウォーキングやロゲイニングなどでエリアを巡るイベントや、ビーチ・マリッジ競技をはじめゾーン内施設を活用したアーチェリー・相撲体験、またポッチャ・アンプティサッカーなどのパラムーブメント事業も組み入れ、ゾーン全体の賑わいを創出します。				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	○相撲体験 ○アーチェリー	スポーツポイントの検討 ○ウォーキング ○ロゲイニング	スポーツポイントの導入 実施メニュー検討・実施	実施メニュー検討・実施	実施メニュー検討・実施
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 大田区総合体育館、青少年交流センター、大森スポーツセンター、大森ふるさとの浜辺公園等との連携により、2020年度実施に向け新スポーツ健康ゾーン活性化事業としての「スタンプラリー」の実施計画案を作成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。</p> <p>② 健康政策部との連携により、はねびよん健康ポイント事業にポイント施設として参加。</p> <p>③ スポーツまつりにおいてスタンプラリーを実施。239人参加 517スタンプ押印</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>上記2019実績及び検証(D・C)の</p> <p>① について 新型コロナウイルス感染症の影響継続のため実施は未定。</p> <p>② について 継続。</p> <p>③ について ①と統合し実施する。</p> <p>④ 2020年9月に大森スポーツセンターにランニングステーションが設置された。上記①の活性化事業実施の際には、このステーションの利用者に同事業の周知を図り、新スポーツ健康ゾーンの活用につなげる。</p>				
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	① 実施計画案作成 ② 実施 ③ 実施 ④ —	実施未定 継続 統合 実施未定	再検討 継続 統合 ランニング教室実施	試行 継続 統合 継続	実施 継続 統合 継続

本方針 2 重点的な取り組み(2) 企業やプロスポーツチームのノウハウを活用した事業展開

<b>重点事業①</b>	<b>ジャイアンツアカデミー【自主事業】</b> <span style="float: right;"><b>既存事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	子どもたちのアウトドアスポーツの環境整備の一環として、プロ野球チームの読売巨人軍と連携・協力し、野球の楽しみとスポーツ習慣を身につけることを目的として、「ジャイアンツアカデミー大田平和島スクール」を開催します。 <b>【読売巨人軍実施】</b>				
<b>取組方針</b>	幼児から小学生を対象として、年間を通じ年齢別に野球スポーツプログラムによる継続的なスポーツ参加を促進する機会を提供するとともに、技術指導を通して子どもたちの健全育成を図ります。 また、教員向けに、児童への野球指導法を学ぶための指導者講習を読売巨人軍、大田区教育委員会と連携して実施を図ります。 【2018年度参加人数 延5,500人】				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	スクール実施 指導者講習実施				▶
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	① 年中～2年39回、3～4年37回、5～6年35回。延べ3545人が参加 ② 事業拡充のため新たに萩中公園野球場での教室開校に向け都市基盤との調整 ③ 調整の結果、2020年4月より開校する協定を締結し事業拡充を図る				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため当初より事業休止も6月10日より再開 ② グラウンド環境において貸出し制限が他区に比べ大田区は厳しいことがあり、協定に基づいて緩和措置の依頼があり、所管部局に対応を求めた。 ③ 雨天時は代替会場として、大田区総合体育館アリーナにて開校 ④ 今後も、新型コロナウイルス感染予防を踏まえ、実施していく。				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	スクール実施 指導者講習実施	萩中会場追加			▶

重点事業②	企業連携スポーツ教室 【自主事業】 <span style="float: right;">2018～新規事業</span>				
<b>事業概要</b>	<p>大田区には多くの企業が中心となった各種スポーツが盛んに行われています。中でも、ラグビートップリーグで活躍している「キャノンイーグルス」や東京ガス野球チームなどがあります。これら企業スポーツと連携し、区民へのPRも含め体験教室などを開催し、地域とのつながりと競技の普及を強化します。</p> <p>東京ガスグラウンドを活用し、東京ガス野球チームによる地域貢献での「野球教室」開催を検討し、新スポーツ健康ゾーンの活性化を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【キャノン(株)・東京ガス(株)実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>2019年ラグビーW杯日本初開催の気運醸成を目的に2018年度から事業開始しました。以降もラグビーの普及、大田区ラグビーフットボール協会の活性化、キャノンイーグルスの地域貢献をテーマに、タグラグビー等の体験教室を行っていきます。また、2019年6月30日には大田スタジアムリニューアルオープニングイベントとして、東都大学オールスター対東京ガスの交流試合や野球教室を計画しています。また、チーム活動を地域の方に知っていただくための方策として、商店街でのチームフラッグ掲出、地域や商店街のまつりなどの行事での紹介により、地域交流と支援計画を検討していきます。</p>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ラグビー教室 協会加盟促進 スタジアムイ ベント(野球教 室/交流試合)  地域交流計画 策定	野球教室/ 定期交流試合  地域交流事業			
<b>2019実績及び 検証(D・C)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 6/30 大田スタジアムリニューアルオープニングイベントで東都大学野球連盟指導の野球教室を開催</li> <li>② 同日には東京ガス VS 東都大学オールスターの交流試合を開催</li> <li>③ 7/28 ソフトボールフェスタでは日体大女子や日立サンディーバ(女子リーグ)を招待して交流試合を実施</li> <li>④ 小学校よりラグビー派遣授業の要望があり、キャノンイーグルスとの調整によりリーグ中でも地域貢献として可能な限り協力する旨を確認 区内全小学校に2回の派遣授業開催の希望を募り、結果、松仙・多摩川小が当選となったが、新型コロナウイルス感染拡大のため多摩川小は中止となった。</li> </ol>				
<b>取組み方針の変 更(A)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度は、企業連携教室の開催が困難である。ラグビー教室については、ラグビーフットボール協会が区民スポーツまつりにおいて実施。</li> <li>② 2021年度以降については、取組み方針に基づき企業側と調整を行う。</li> </ol>				

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
<b>年次計画変更 (P)</b>	ラグビー教室 協会加盟促進	ラグビー教室			→
	スタジアムイ ベント(野球教 室/交流試合)	野球教室/ 定期交流試合 中止	野球教室/ 定期交流試合		→
	地域交流計画 策定	地域交流事業			→

<b>重点事業③</b>	<b>スポーツリーダーの把握・データ化【自主事業】</b> <span style="float: right;">2018～新規事業</span>				
<b>事業概要</b>	<p>オリンピック・パラリンピック、国体等で活躍した大田区ゆかりの著名アスリートやスポーツ指導者(候補者)を調査・把握します。その情報をデータ化して、区、協会のスポーツ事業をはじめ学校の部活動等において指導・協力を得ます。</p> <p style="text-align: right;">【協会事務局実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>加盟団体を通じて調査を実施します。その内容を集約、データ化を行います。集約したデータは、加盟団体の活性化や学校や教育委員会と連携を図り、小中高校生のスポーツ有望選手の育成に寄与していきます。</p> <p>以降、そのデータをできる限り新しい内容で維持するため、随時更新していきます。なお、個人情報のため、調査の趣旨を説明し、賛同を得ることを前提とします。</p>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	集約 データ化	活用 更新			→
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	① 2019年度加盟50団体に調査実施。回答22団体(指導者数191名、審判等387名)				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	<p>①2020年度も加盟51団体に調査実施。回答16団体(指導者数168名、審判等396名)</p> <p>②スポーツ指導者リスト(各種大会入賞者)もデータ追加を行った。</p> <p>③活用実績はなし。</p> <p>④今後、指導者講習会講師やスポーツバイキング指導者、各種スポーツ教室指導者など、協会事業での講師等選定で活用していく。また、学校など外部から指導者の照会があった際にも活用していく。</p> <p>⑤引き続き、更新調査を年度ごとに実施する。</p>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	集約 データ化	活用 更新	・データ更新 ・事業活用 ⇒2件 ・照会活用 ⇒随時	・データ更新 ・事業活用 ⇒4件 ・照会活用 ⇒随時	・データ更新 ・事業活用 ⇒6件 ・照会活用 ⇒随時

<b>重点事業④</b>	<b>プロスポーツチーム等と区民との交流 【自主事業】</b>					<b>新規事業</b>
<b>事業概要</b>	<p>区民のスポーツへの興味・関心を喚起し、スポーツ参加率を向上させるため、大田区を拠点に活動するプロチーム等と連携し、その活動や技術を区民の前で披露するとともに、地域貢献からの区民との交流の場を設けることにより、幅広い層のスポーツ参加を促進します。</p> <p>○プロチーム等            バスケットボール・・・アースフレンズ東京・東京羽田ヴィッキーズ            バレーボール・・・・・・・・サントリーサンバーズ・NECレッドロケッツ            ラグビー・・・・・・・・・・キャノンイーグルス</p> <p>【協会事務局実施】</p>					
<b>取組方針</b>	<p>バスケットボール・バレーボール・ラグビーなど大田区を拠点に活動するプロチーム等との連携により、チームの練習あるいは試合などで、その技術を「見る」、体験会などで「する」ことのできる環境を整備します。</p> <p>事業実施に際しては、観光・国際都市部との連携により、区姉妹都市とのイベントや地域商店街の地域まつりなどに参加し、交流・体験イベントを通じてのプロチームのPRと大田区と地域一帯での応援体制を強化するとともにプロチームの試合開催により区の観光や産業など他分野への波及効果の創出に繋げていきます。</p>					
<b>年次計画</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
	調査 事業内容検討	イベント参加 応援内容の 具体化				
<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	<p>① 小学校よりラグビー派遣授業の要望があり、キャノンイーグルスとの調整によりリーグ中でも地域貢献として可能な限り協力する旨を確認。</p> <p>区内全小学校に2回の派遣授業開催の希望を募り、結果、松仙・多摩川小が当選となったが、新型コロナウイルス感染拡大のため多摩川小は中止となった。</p> <p>② 2020年度に、大森スポーツセンターにおいて、ヴィッキーズバスケットクリニックの開催を計画。対象：希望者80名定員 日程：8/23午後、内容：公開練習、クリニック、交流イベント</p>					
<b>取組み方針の変更(A)</b>	<p>① 2020年度プロスポーツチーム等と区民との交流「東京羽田バスケットクリニック」を新型コロナウイルス感染予防対策の上実施。 対象：小学生、参加者24名、日時：8/29(土)13:30~14:30 場所：大森スポーツセンターアリーナ全面 内容：元プロ選手やコーチが直接指導。バスケットボールを楽しく体験し、チームワーク、礼儀、ルールを学ぶ。</p> <p>② 2021年度以降については、取組み方針に基づきチーム側と調整を行う。</p>					
<b>年次計画変更(P)</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
	調査 事業内容検討	イベント参加 応援内容の 具体化	ラグビー派遣事業実施 バスケットクリニック実施	継 続	継 続	

**基本方針 2 重点的な取り組み(3) 加盟団体のスポーツ競技力向上の支援**

<b>重点事業①</b>	<b>スポーツ団体の育成(振興補助金交付) 【自主事業】</b> <span style="float: right;"><b>既存事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	協会の加盟団体が実施する事業に要する経費の財源の一部を補助し、各加盟団体事業の普及推進を図ります。 <span style="float: right;">【協会事務局実施】</span>				
<b>取組方針</b>	振興補助金の交付をとおして、各加盟団体の運営を財政面から支援し、区内スポーツ団体等の活動促進や育成、スポーツ振興を図ります。 未加盟団体の加入を促進し、団体数の増加と賛助会員の増加により、財源の確保を行うため、さまざまな事業で協会活動をPRして加盟団体、協賛金を募ります。 <span style="float: right;">【加盟団体数 2019年4月1日現在 50団体】</span>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	活動支援・PR 賛助会員増				→
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	① 協会活動のPRにより、2019年4月1日大田区ラグビーフットボール協会が加盟、2020年4月1日大田区ポッチャ連盟が加盟し、加盟団体数は51団体となった。具体的な支援としては、区民スポーツ大会の会場提供、区民スポーツまつりにおいてのイベント実施補助などが挙げられる。これらを通じて、加盟団体の活動をPRし、一般の方が団体に入会してもらえるよう広報活動も実施した。				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	① 現在も加盟を検討している団体があるため、引き続き加盟の促進を行っていく。 取組み方針に変更なし。				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	活動支援・PR 賛助会員増	加盟団体数 51団体  30企業 15個人	加盟団体数 52団体  30企業 15個人	加盟団体数 53団体  32企業 18個人	加盟団体数 53団体  32企業 18個人

<b>重点事業②</b>	<b>都民大会への区代表選手等の派遣 【区受託事業】</b> <span style="float: right;"><b>既存事業</b></span>				
<b>事業概要</b>	<p>都民大会に向け結団式を挙行し、競技種目に該当する加盟団体から代表選手を派遣します。また、派遣にあったっては大会日数や旅費に応じて、費用を支給します。大会終了後は、成績発表や祝賀会を兼ね、解団式を実施します。</p> <p style="text-align: center;">【加盟団体実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>都民大会派遣により、競技選手及び他競技間の交流を図り、大田区選手団の団結を強めます。また、他自治体との競争により競技力向上を図る契機とします。</p> <p>本大会を区民大会や加盟団体の大会の上位大会と位置づけ、競争性を保持することで選手強化及び参加競技の拡大を図ります。さらに、ジュニアなどから有力選手を調査・把握し、参加を促すことで、都民大会の各競技種目の入賞件数を底上げし、大会連覇の記録更新を目指します。</p> <p>また、バトントワーリングなど区内で盛んな競技を大会種目として拡充してもらえよう主催者等へ働きかけていきます。</p> <p>派遣費の支給については、実態に合わせられるよう随時、支給額の検討や要望の把握に努めます。</p> <p style="text-align: center;">【総合優勝 女子9連覇、男子3連覇中（2018年度現在）】</p>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	総合優勝の連覇更新及び入賞競技増加の支援				→
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	<p>① 総合優勝10連覇はならず江東区に続き男女とも2位の結果</p> <p>② 72回大会は平成30年7月29日～令和元年6月9日の期間で実施</p> <p>③ 春466名・夏23名・冬32名 計521名が参加</p> <p>④ 式典では、結団式48名・合同開会式45名・閉会式4名・解団式210名が参加</p>				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	<p>① 73回スキー大会は雪不足のため中止</p> <p>② 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、すべての春季大会と合同開会式等の式典は中止</p> <p>③ 74回夏季水泳・ゴルフ大会もコロナの影響により中止。今後の大会開催への影響を懸念するも現在のところ、都体協としては予定どおり開催に向けて準備を進めており、安全対策を配慮し進める。</p>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	総合優勝10連覇ならず	73回春季大会中止。合同開会式等すべての事業中止。 74回水泳・ゴルフ中止	総合優勝奪還及び入賞競技への支援		→

重点事業③	選手育成強化費の交付【自主事業】 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>東京都主催の東京都民体育大会に参加する大田区代表選手育成強化費を交付します。</p> <p>【加盟団体実施】</p>				
取組方針	<p>選手の育成強化に取り組み、都民大会で優秀な成績をあげた場合に、その選手の所属する加盟団体に交付します。</p> <p>育成強化費は、正式種目・公開種目とし優勝から8位入賞(前回大会対象)まで男女別に支給します。</p> <p>今後、各団体がそれぞれの種目で優秀な成績があげられるよう、さらに効果的な強化費の交付方法について検討していきます。</p> <p>【2018年度交付団体数 30団体】 【2018年度交付金額 1,010,000円】</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	交付総額/年 810,000円 交付方法の検討	1,000,000円 検討・試行	1,100,000円 検証	1,100,000円 円検証による実施	1,200,000円 円検証による実施
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 2019年実施の都民体育大会の結果に基づき、16団体へ計760,000円の交付を予定していた。しかし、2020年の都民体育大会の中止が決定したため、選手育成強化費の支給については、一部の団体を除き、来年度に行うこととした。</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>① 取組み方針に変更はなく、支給対象を・方法を検討し具体化していく。</p>				
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	交付総額/年 810,000円 交付方法の検討	50,000円 検討・試行	710,000円 検討・試行	1,000,000円 円検証による実施	1,100,000円 円検証による実施

重点事業④	指導者講習会の開催 【自主事業】 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>加盟団体の指導者等の資質向上を図るためトレーニング・コーチング・けが予防・栄養学等競技力向上に資する講習会を開催します。</p> <p>加盟団体等の競技団体を対象として講習会や講演会を通じて、スポーツ競技力向上及び健康維持・増進に寄与することを目的とします。</p> <p>競技力向上対策の一環として、著名な競技経験者や専門の有識者などを講師に招き実技の体験、講演を開催し、加盟団体の競技者とその指導者及び中学校の運動部指導者にスポーツ競技の魅力及び技術の向上術並びに体調の管理・ケアなどの学び場を提供します。 【加盟団体・協会事務局実施】</p>				
取組方針	<p>競技力向上部会において、加盟団体の競技力向上を目指して、有効な講習会内容を企画検討します。</p> <p>平成26年度から実施してきました「フィジカルトレーニング、スポーツ医学、スポーツ栄養学、テーピング講習会、熱中症対策、コーチングなど」のテーマで実技、座学を年3回程度行っています。</p> <p>今後は、競技力向上部会で従来の講習会内容を踏まえて、プロ・企業スポーツの協力を得るなどより、一層スポーツ指導者や競技者に身近でフィットした内容を考え講習会の充実を図ります。また、講師選定にあたっては、スポーツ指導者リストを活用していく。</p> <p>参加者も加盟団体だけでなく、中学校のスポーツ指導者等も対象としていきます。 【2018年度参加人数150人】</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	参加予定者数 160人	参加予定者数 170人	参加予定者数 180人	参加予定者数 190人	参加予定者数 200人
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 障がい者スポーツを理解するをテーマに加盟団体46名が参加</p> <p>② 第二回開催予定も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に図り実施していく。</p>				
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	年1回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催
	参加予定者数 46人	参加予定者数 170人	参加予定者数 180人	参加予定者数 190人	参加予定者数 200人

### 基本方針 3 重点的な取り組み(1) 協会の広報事業の充実

重点事業①	協会誌「ひろば」の発行 【自主事業】 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	協会の事業や都民体育大会の成績、加盟団体の活躍などを紹介し、協会の存在を広く区民にPRしていくことで、区民のスポーツへの関心を高めるとともに団体が協会に加入するきっかけをつくりまします。 【協会事務局実施】				
取組方針	<p>① 年2回発行 9月号 31,000部 3月号 6,300部 紙面の充実と協会の自主事業を実施する上で貴重な収入源のひとつになっている広告掲載の強化を図るため、加盟団体の総務部会において検討を行います。(9月号は自治会・町会回覧あり)</p> <p>② 2020年度以降、発行回数、紙面構成、編集方法の検討に基づき発行します。 以後、効果的なPR、紙面の充実を図っていきます。</p> <p>③ 外部への編集受託による費用対効果を検討し、より効果的な紙面づくりを目指します。</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	年2回発行内容等検討	検討に基づき発行	検討に基づき発行	検討に基づき発行及び見直し	見直しによる発行
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 発行内容 2019年9月 31,000部発行 2020年3月 6,300部発行</p> <p>② 2019年度ひろば検討(総務部会)にて、発行回数、紙面構成、編集方法、広告掲載について検討する。検討結果は、年2回発行継続、従来の記事の他、資料、記録的価値のある記事などを載せる。固定記事に加え、予算を配慮しつつ企画記事の掲載などを進める。広告記事は、ページ増につながるため、ある程度数量を抑え、ホームページのバナー広告などの活用を考える。</p>				
取組方針の変更(A)	<p>① 取組方針に基づき実施 2020年度2021年度は、見直し結果に基づき、発行を行う。 2022年度は、発行部数、ページ数、広告等について経費削減ができるか再検討を行う。</p>				
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	年2回発行内容等検討	検討に基づき発行	検討に基づき発行	検討に基づき発行及び見直し	見直しによる発行

<b>重点事業②</b>	<b>HP による情報提供、SNS・スマホ活用事業 【自主事業】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">既存事業</span>				
<b>事業概要</b>	<p>随時見やすく、目的に辿りつきやすい広報媒体の運営を行います。また、ワンソースマルチデバイスで情報発信をより迅速かつ広く行っていきます。 【協会事務局実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>事業の充実に欠かせない広報において、現状では情報量が乏しく、媒体の活用も十分ではありません。2019 年度に協会HPのリニューアルを実施し、コンテンツの充実、Web サイトの多言語表示によるスポーツ情報の発信、セキュリティ強化により、媒体の活性化と信頼性向上を目指します。ソフト面でも協会の概要や実施事業などの情報を充実させていきます。</p> <p>また、民間スポーツ施設との事業連携を推進し、HP上でもリンク集の掲載等で相乗効果を図ります。さらに、リニューアルに合わせ、HPトップページ上でバナー広告の運用を開始し、収益増加を図ります。ツイッター等のSNSを活用してタイムリーかつビジュアルに広報します。今後もICT技術の進化に合わせ、世間でトレンドとなる媒体を効果的に活用していきます。</p> <p>また、各加盟団体の事務局担当者が団体との情報共有、広報活動の支援等を行い、情報発信力の強化に努めます。</p>				
<b>年次計画</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	HP 改修	運用	運用	運用	運用・検討
	HP サイト訪問数 4,500 回/月 フォロー- 100 人	HP サイト訪問数 4,750 回/月 フォロー- 125 人	HP サイト訪問数 5,000 回/月 フォロー- 150 人	HP サイト訪問数 5,250 回/月 フォロー- 175 人	HP サイト訪問数 5,500 回/月 フォロー- 200 人
<b>2019 実績及び検証(D・C)</b>	<p>① 10 月よりホームページをリニューアルし機能の拡充を図り、新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止などタイムリーな情報提供を行った。</p>				
<b>取組み方針の変更(A)</b>	<p>① 2020 年度、新型コロナウイルス感染拡大によるステイホーム期間において、ホームページ上で、ストレッチや動画を配信し好評を得た。</p> <p>② スポーツイベント再開に向け、加盟団体に対しホームページを通じ、コロナ禍における熱中症対策やガイドラインを周知している。</p> <p>③ 取組方針は、変更しないが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている中では、ホームページでの情報発信はより大きな意味を持つため更に情報発信力の強化に努める。</p> <p>※カウント方法が変更となったため、2020 年度以降の目標実績を変更する。</p>				
<b>年次計画変更(P)</b>	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	HP 改修	運用	運用	運用	運用・検討
	ユーザー数 不明/月 フォロー- 115 人	ユーザー数 2,850 回/月 フォロー- 125 人	ユーザー数 2,900 回/月 フォロー- 150 人	ユーザー数 2,950 回/月 フォロー- 175 人	ユーザー数 3,000 回/月 フォロー- 200 人

### 基本方針 3 重点的な取り組み(2) 協会の財政基盤と組織の強化

重点事業①	賛助会員の拡充 【自主事業】 <span style="float:right">既存事業</span>				
事業概要	<p>大田区における、スポーツ及びレクリエーションの普及・進行を図り、区民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とする協会の活動に賛同する団体・企業又は個人に対し賛助会員として会費を募ります。</p> <p style="text-align:right">【協会事務局実施】</p>				
取組方針	<p>協会の趣旨に賛同する個人・団体・企業あて賛助会費を募ります。 1口 5,000円</p> <p>新規会員獲得のため、協会に関係を持つ企業や、スポーツ団体などに広く働きかけ、年間を通して賛助会員を募り実績増を図っていきます。</p> <p>また、賛助会員であることでの特典などを検討し、長く協会に協力いただけるようにしていきます。</p> <p style="text-align:right">【2018年度実績 3,910,000円】</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	4,000,000円 30企業 20個人	4,050,000円 32企業 22個人	4,050,000円 32企業 22個人	4,100,000円 34企業 24個人	4,100,000円 34企業 24個人
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 2019年度実績 4,720,000円</p> <p>企業 30社 3,535,000円(前年比 4社増 855,000円増)</p> <p>加盟団体 50団体 800,000円(前年比 1増 15,000円増)</p> <p>一般個人 15人 100,000円(前年比 1増 1減 金額増減なし)</p> <p>加盟団体個人他 57人 285,000円(前年同額)</p> <p>② 検証 関係企業等への働きかけにより、会員増が図られた。</p> <p>一方、個人会員は、一般会員の高齢化が進み、減少傾向にあり、新規獲得による実績増が難しい状況にある。</p>				
取組方針の変更(A)	<p>① 引続き、新規獲得による実績増を図っていくが、新型コロナウイルス感染症の影響による企業の業績によっては、減額、辞退などが懸念される。また、個人賛助会員は、減少傾向にあり、実績増に向けた取り組みとして企業会員も含めた会員特典などを検討する必要がある。</p> <p>② このような状況から、2020年度以降の目標実績を変更する。</p>				
年次計画変更(P)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	4,720,000円 30企業 15個人	4,720,000円 30企業 15個人	4,720,000円 30企業 15個人	4,775,000円 32企業 18個人	4,775,000円 32企業 18個人

重点事業②	基本財産の運用 【自主事業】				既存事業
事業概要	<p>協会の基本財産は、大田区の出損金 1 億円と寄付金 1 億円の計 2 億円が原資です。基本財産の運用は以下のとおりです。(平成 30 年 10 月 31 日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利付国債 10 年債 167,109,800 円 年利 0.6% 平成 35 年 3 月 20 日償還</li> <li>・ 利付国債 10 年債 29,831,100 円 年利 0.6% 平成 35 年 3 月 20 日償還</li> <li>・ 定期預金 2 年 2,000,000 円 年利 0.03% 平成 32 年 9 月 18 日自動継続型</li> <li>・ 普通預金 1,059,100 円 (国債償還差益分受取り口座)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【協会事務局実施】</p>				
取組方針	<p>基本財産の運用益は、協会の法人会計の管理費に充当するための貴重な財源となっています。財産の運用は、安全で高い利回りが望まれます。</p> <p>現在運用中の国債は、年利 0.6%の高い利回りのため、償還日の 2023 年まで運用します。また、運用中の定期預金については、自動継続型であるが、金利動向を注視しながら、運用方法を検討します。</p>				
年次計画	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
2019 実績及び検証(D・C)	<p>① 198,000,000 円の国債については、現在の国債の金利は、0.05%と下がっており、年利 0.6%の金利は、高い利回りとなっている。年間に 1,188,000 円の利子収入があるため、H5 年の償還日まで運用の継続を行う。</p> <p>② 2,000,000 円の定期預金については、H24 年当時は、0.21%、2 年後の H26 年には 0.15% その 2 年後 H28 年には、0.03%となり現在にいたる。R2 年については、自動継続すると 0.01%となるが、他社に乗り換えを行うと振込手数料の支出で金利が相殺されるため、R4 年まで自動継続とし、運用方法を検討し、国債運用時に運用方法を変更する。</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>① 基本財産及びその他の財産について、現在定款に基本財産、財務規程に固定資産についての定めがあるが、定款にある別に定めるところの運用管理等の規定がなかったため、財産運用管理規程を策定する。</p> <p>② その他、基本的な取組み方針の変更なし。</p>				
年次計画変更(P)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
		財産運用管理規程策定			
	【利付国債】 現行のまま運用			R 5 3.20 → 償還 → 運用方法の検討	R5.12.20 償還 運用
	【定期預金】 運用方法の検討	満期		(満期)	

重点事業③	事務局組織・人員体制 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>〈組織体制〉 事務局の組織は、平成 29 年以降、事業係と庶務係を設置し、事務局長、次長、所長、係長の組織体制となっています。業務内容と組織の意思決定の明確化を図り、事業の効果的で効率的な運営に努めています。</p> <p>〈人員体制〉 現在、協会事務局の職員は、プロパー（区退職者）と区派遣者で構成し、平成 31 年 3 月 31 日現在、プロパー 3 名、派遣者 7 名です。なお、職員人件費は、プロパーが区の補助金、派遣者は区からの給与支給となっています。</p> <p style="text-align: right;">【協会事務局実施】</p>				
取組方針	<p>協会事務局の効果的かつ効率的な組織運営を図るために、即戦力としての人材が必要です。区の派遣、退職者を配置することで、地方公共団体で得た知識や経験がスポーツ事業や公益目的事業を推進する協会業務に活かされています。このため、今計画期間中の組織・人員体制については、現行の体制を維持し、職員年齢層のバランスを考慮するとともにスポーツの専門知識を有する職員の配置も検討していきます。</p>				
年次計画	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	〈組織〉 局長・次長 所長・2 係制 〈配置人員〉 11 名	業務内容に基づ く組織・配置人 員の検討			
2019 実績及び検証(D・C)	<p>2019 年度は、2 係制をとり、局長 1 名、次長 3 名、庶務係 3 名事業係 4 名の 11 名体制であった。受託事業増により、職員 1 名増を強く要望した。2020 年度については、事業係 1 名減の 10 名体制である。</p> <p>職員の内訳は定年前職員、再任用職員、プロパーである。プロパーについては、区派遣の再任用職員が、短時間勤務に切替わる際にプロパーとなって継続勤務しているのが現状であり、実質の組織構成は、区職員、区職員 0B である。2022 年度からは、年金支給が、65 歳からとなるため、全員が区よりの派遣職員となるため、更に区の人事によりその内容が決定される状況となる。</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>協会事務局の効果的かつ効率的な組織運営を図るために、即戦力としての人材が必要である。区の派遣、退職者を配置することで、地方公共団体で得た知識や経験がスポーツ事業や公益目的事業を推進する協会業務に活かされている。このため、今計画期間中の組織・人員体制については、当面は現行の体制を維持し、職員年齢層のバランスを考慮しながら、区への派遣人員要求を行う。また、今後、協会職員のあり方を検討し、スポーツの専門知識を有する固有職員や法人会計の専門知識を有する固有職員の配置も検討していく。</p>				
年次計画変更(P)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	〈組織〉 局長・次長 所長・2 係制 〈配置人員〉 11 名	協会職員のあり 方及び組織・配 置人員の検討 〈配置人員〉 10 名			

重点事業④	研修制度の充実 <span style="float: right;">既存事業</span>				
事業概要	<p>【加盟団体】 加盟団体の指導者を育成するため、研修会や講習会の受講を希望する団体に対して受講料一団体一年度あたり 10,000 円を限度に助成します。</p> <p>個人資格は新規取得の場合のみ助成可。</p> <p>【事務局】 公益法人制度及び会計セミナーを受講し、公益法人の仕組みや日々の会計処理、収支予算書・決算書の財務諸表の作成方法を学びます。</p> <p style="text-align: right;">【協会事務局実施】</p>				
取組方針	<p>【加盟団体】 平成 26 年 4 月 1 日交付要綱施行 平成 30 年 4 月 1 日改正 ○助成件数実績 H26 1 件、H27 3 件、H28 3 件、H29 2 件、H30 3 件 ※利用拡充のため制度の周知と内容の検討を行います。</p> <p>【事務局】 事務局庶務係員が公益法人協会による公益法人制度、会計入門編・基礎編・実務編・決算編を受講します。</p> <p>【加盟団体・事務局】 日本スポーツ協会、東京都体育協会などが主催するセミナー、講習会については、開催情報を加盟団体に提供するとともに事務局職員もスポーツの知見を広めるため積極的に受講します。</p>				
年次計画	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	<p>○加盟団体への助成</p> <p>①制度の周知 _____ 毎年度 4 月 _____ →</p> <p>②制度内容の検討 _____ 必要の都度 _____ →</p> <p>○法人制度・会計セミナー、他スポーツ団体の講習 受講 _____ 必要セミナー・講習 _____ →</p>				
2019 実績及び検証(D・C)	<p>① 【加盟団体】 スポーツ少年団本部（2 件）、フォークダンス協会、ダンススポーツ連盟、ゲートボール協会の合計 5 件（4 団体）へ指導者受講料の助成を行った。なお、2019 年 5 月 1 日付けで当該助成交付要綱の改正（基準の緩和及び項目の簡素化）を行い、制度の有効活用を促したため、前年度（3 件 3 団体）より申請が増加した。</p> <p>② 【事務局】 会計セミナー入門編（3 名）、新任役員・職員研修（5 名）、立入検査セミナー（2 名）、会計セミナー基礎編（1 名）、会計セミナー実務編（1 名）、役員・管理者向け会計セミナー（1 名）、会計セミナー決算編（2 名）を受講し、公益法人制度や公益法人会計について学び、適切な法人運営ができるよう知識を深めた。</p> <p>③ 【加盟団体・事務局】 （公財）東京都スポーツ文化事業団が開催するセミナーに参加し、フィジカルトレーニング、スポーツ栄養学、リスク管理について学ぶことで、スポーツの知見を広めた。</p> <p>次年度以降も引き続き必要なセミナー・講習に参加し、公益法人制度の知識を深め、さらにスポーツの知見を広めることで、適切な法人運営を行い、より良い事業を実施していく。</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>①新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインで開催する研修やセミナーも対象とする旨、周知していく。</p> <p>②、③変更なし。</p>				

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
<b>年次計画変更（P）</b>	【受講料助成】 ・制度周知 ・5件（4団体）	【受講料助成】 ・制度周知 ・5件	【受講料助成】 ・制度周知 ・7件	【受講料助成】 ・制度周知 ・10件	【受講料助成】 ・制度周知 ・13件
	○加盟団体への助成				
	①制度の周知 _____ 毎年度4月 _____▶				
	②制度内容の検討 _____ 必要の都度 _____▶				
○法人制度・会計セミナー、他スポーツ団体の講習 受講 _____ 必要セミナー・講習 _____▶					

### 基本方針 3 重点的な取り組み(3) 指定管理者としての運営能力の向上

重点事業①	大森スポーツセンターの管理・事業運営				
事業概要	<p>体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、区民の心身の健全な発達に寄与するために、1997年(平成9年)に開館した大田区立の施設です。競技場(アリーナ)は1,620㎡、2階スタンド376席収容席、その他健康体育室やトレーニングルーム、ミーティングルーム、88席の小ホールを有しています。また、施設内では親子体操教室を始め各種スポーツ教室を実施しています。</p> <p>※指定管理期間 2019年4月～2024年3月 【大森スポーツセンター実施】</p>				
取組方針	<p>2020オリンピック・パラリンピックの開催を好機と捉え、誰もが気軽に楽しみながら安心して健康・体力づくりができる機会を提供し、新スポーツ健康ゾーン内拠点施設の役割を果たしつつスポーツ人口とスポーツ実施率の向上につなげます。</p> <p>1 2020オリパラのブラジルハンドボールチーム合宿への全面的な協力と国際交流の促進及びレガシーの形成 2 健康・福祉分野との連携の拡充や運動相談機能・トレーニング機器の充実 3 働き世代や子育て世代等スポーツ潜在層に向けた事業の展開 4 大田スタジアムや近隣施設、地域住民との連携による効果的・効率的な施設運営 5 計画的、継続的な研修による職員力の向上</p>				
年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	指定管理期間				▶
	1～5事業推進	1 オリパラ事前合宿			▶
2019実績及び検証(D・C)	<p>① 11月16日～11月30日ブラジルハンドボールチーム事前キャンプへの全面的な協力。</p> <p>② 健康分野と連携して「フレイル」講座を開講。 トレーニングでは、機器13種類15台を最新機器に入れ替え、機器の充実を図り、また、トレーナーの人数を増やし、利用者の目的に合ったアドバイスを行い、コンシェルジュ機能を高めた。</p> <p>③ 一般開放事業は、昼間に加えて夜間も実施し、また、地域スポと連携して種目を増やすことで、働き世代や子育て世帯の参加を促し、スポーツ実施率の向上に寄与した。スポーツ教室は前年度より1教室増の24教室を実施し、スポーツ潜在層の参加機会を増やした。</p> <p>④ 都営住宅や老人ホームとの近隣施設と、消防訓練や定期的な情報交換を実施し、施設の運営や危機管理能力を高めた。</p> <p>⑤ 大田スタジアムと共同で職員研修を休館日に2回実施。</p>				
取組み方針の変更(A)	<p>① 2020年度東京オリンピック・パラリンピック開催が2021年度に延期したため、年次計画を変更する。</p> <p>② 関係部署と連携して新型コロナウイルス感染症予防を実施する。運営では、感染状況を見ながら事業の数や規模を調整し、利用者の使用制限を設け、また管理では、職員の健康チェックを徹底させることで、区民が安全かつ安心して利用できる施設とする。</p> <p>③ 新型コロナにより長期化する外出自粛生活の中、トレーニングルームのトレーナーが自宅で気軽にできるトレーニング動画や健康に関する情報、脳トレ体操などをHPで</p>				

	<p>紹介し、一緒に運動することでストレス解消、体力の維持・向上につなげる。</p> <p>④ ランナーの拠点となるランニングステーションを設置する。専用ブースを設け、新スポーツ健康ゾーンを巡るランニングコースを紹介し、仕事帰りのランニングや、遠方からのランナー達に利用してもらうことで、新スポーツ健康ゾーンの魅力を知ってもらう。また、ランニングの後、地元商店街で食事や買い物へと結びつけることで、地域の活性化につなげていく。</p>				
<b>年次計画変更（P）</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	指定管理期間	指定管理期間	_____	_____	→
	1～5事業推進	1～5事業推進	1 オリパラ事前合宿	_____	→

<b>重点事業②</b>	<b>大田スタジアムの管理・事業運営</b>				
<b>事業概要</b>	<p>区民の余暇利用の充実及び健康増進に寄与するため1995年(平成7年)に竣工した大田区立の野球場です。都内では数少ない全面人工芝で硬式野球ができるグラウンドを野球及び野球以外のスポーツ等の利用に供しています。</p> <p>※指定管理期間 2019年4月～2024年3月</p> <p>※2018年4月～2019年6月まで改修工事 7月リニューアルオープン</p> <p style="text-align: right;">【大田スタジアム実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>利用ニーズに合ったきめ細やかな対応を行うとともに、ユニバーサル社会の実現を目指し誰もが安心してスポーツを楽しめる、賑わいのある施設づくりに取組み、新スポーツ健康ゾーン内拠点施設の役割を果たしつつ野球を含めたスポーツ人口のすそ野を広げます。</p> <p>1 野球教室、ランニング教室等体験型・学習型 2 障がい者スポーツにふれあうことができる事業の開催 3 リニューアルオープニングセレモニーの実施 4 大田スタジアム限定グッズの販売やキッチンカー等の出店 5 大森スポーツセンターや近隣施設との連携による効果的、効率的な運営 6 計画的、継続的な研修による職員力の向上</p>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	指定管理期間				
	3 オープニングイベント 3 以外の事業推進				
<b>2019実績及び検証(D・C)</b>	<p>① ・野球教室 小学1・2年生及び5・6歳児と各々の保護者を対象に開催 212人参加 継続希望多数あり → 区内少年野球チーム一覧を配付し継続実施を促した。アンケート結果でも好評のため、次年度以降も継続実施する。</p> <p>・ランニング教室 参加者確定後、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。同感染症の影響を踏まえつつ、次年度以降の実施を検討する。</p> <p>② ・下記③のスポーツエリアにおいて、ポッチャ及びアンプティーサッカーを実施した。</p> <p>・デフフットサル交流会 参加者確定後、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。同感染症の影響を踏まえつつ、次年度以降の実施を検討する。</p> <p>③ リニューアルオープニングセレモニー</p> <p>・令和元年6月29日に区民参加型のフェスタを開催 4,600人参加 グラウンド内にステージ・アウトドア・スポーツのエリア、場外にキッチンカーのエリアを設置し、誰もが1日楽しめるイベントを実施。</p> <p>・令和元年6月30日に区内子どもたちを対象とした野球教室と「東都大学野球オールスターチーム」と「東京ガス硬式野球部」による記念試合を開催 2,000人参加</p>				

	<p>2日間の開催で多くの区民に新大田スタジアムの魅力を発信することができ、利用率も概ね9割台となっている。</p> <p>④ 近隣施設との連携による効果的、効率的な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設のパフレットや実施事業のチラシの相互配置</li> <li>・少年野球全国大会（3月）時に、近隣施設と連携し駐車場を確保して利用提供を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で大会中止となり未実施。</li> </ul> <p>⑤ 計画的、継続的な研修による職員力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大森スポーツセンターとの合同研修（2回）による職務遂行能力及び利用者サービスの向上を図った。</li> <li>・防災訓練による危機管理能力の向上を図った。</li> </ul>				
<p><b>取組み方針の変更(A)</b></p>	<p>上記 2019 実績及び検証(D・C)の</p> <p>①について 感染症対策を講じた上で規模を縮小して実施。</p> <p>②について 感染症対策を講じた上で規模を縮小して実施を検討。</p> <p>③について 区内子どもたちを対象とした野球教室と「東都大学野球オールスターチーム」と「東京ガス硬式野球部」による交流試合を計画 → 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p> <p>④について 実施予定。</p> <p>⑤について 実施。</p> <p>※ 2021 年度以降については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、必要な対策等を講じ安全・安心を確保の上、上記取組方針の下、取り組んでいく。</p> <p>2020 東京オリンピック・パラリンピックは 2021 年に延期となったが、引き続き、大会時における野球・ソフトボールの練習会場として、全面的に協力していく。</p> <p>野球以外でも多目的に利用することができる一般開放事業にも取り組み、施設の魅力向上を図っていく。</p>				
<p><b>年次計画変更(P)</b></p>	<p>2019 年度</p>	<p>2020 年度</p>	<p>2021 年度</p>	<p>2022 年度</p>	<p>2023 年度</p>
<p>指定管理期間</p>	<p>→</p>				
<p>野球教室・交流試合</p>	<p>中止</p>	<p>野球教室・交流試合</p>	<p>→</p>		
<p>その他の事業推進</p>	<p>→</p>				



### 基本方針 3 重点的な取り組み(4) スポーツイベント実施における危機管理

重点事業①	コロナ禍における事業運営 <span style="float: right;">新規</span>				
<b>事業概要</b>	<p>新型コロナウイルス（COVID-19）が、中国武漢市で初めて検出され、世界各地に感染が拡大し、多くの死者が出た。3月にはWHOにおいてパンデミックが発せられ、我が国においても、感染拡大防止のため4月に緊急事態宣言が発令された。それに伴い、大田区では8月末まで、一部を除きイベント、大会が余儀なく中止された。9月からは事業再開にむけ、3密を避けガイドラインに沿った事業運営を行っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策のため令和3年度以降の受託事業については、小中学生スポーツ教室、初心者スポーツ教室の廃止、障がい者スポーツ教室の内容変更、OTAワーキングの回数変更など内容の変更がある。</p> <p style="text-align: right;">【協会事務局実施】</p>				
<b>取組方針</b>	<p>誰もが安心してスポーツを楽しめるよう以下ガイドラインに基づき、事業運営を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染予防のための大田区スポーツイベントガイドライン(大田区)</li> <li>②社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(スポーツ庁)</li> <li>③スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会)</li> <li>④新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ(東京都)</li> </ul> <p>また、区が廃止した受託事業について、加盟団体活動の支援やスポーツ振興の観点から自主事業での対応をできるか検討を行う。</p>				
<b>年次計画</b>	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	ガイドラインに基づく事業運営			▶
		受託→自主への事業展開			▶